

こども教育会議 会議録（速記メモ）

日時	場所	出席	小松市長、松尾教育長 教育委員（一ノ瀬、大庭、馬場、山口、岡本、田中、大渡、堀田、井手） 牟田こども教育部長、永尾こども教育部理事 教育総務課（諸岡課長）、学校教育課（古川課長） 古賀営業部長、ハブ都市推進室（大野室長、金岩副主幹） 庭木企画部長、企画政策課（松尾課長、中村係長、筒井）
令和3年1月20日（水） 13:30～14:40	武雄市役所 全員協議会室		
1. 協議件名		第25回こども教育会議 (子どもたちにもたらず新幹線開業の効果について)	

議事録

内容	<p>1 開会(進行:庭木企画部長)</p> <p>2 議事(議事進行:小松市長)</p> <p>(1)子どもたちにもたらず新幹線開業の効果について</p> <p>①話題提供</p> <p>九州新幹線西九州ルートの開業がもたらず効果と開業に向けて取り組んでいる「九州新幹線武雄温泉駅開業に向けた魅力創造行動計画」の進捗状況について説明を行った。</p> <p>②意見交換</p> <p><出席者の意見></p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが新幹線を身近に感じるためには、車両の魅力などを教材化して理解を深め、興味を持たせることが必要である。また、知るだけで終わらせるのではなく、子どもたちを巻き込む方法として、子どもガイドの取り組みなど考えられる。 公共空間の活用について、トムソーヤフェスティバルで実施していた各地域の取り組みを展示・発表するスペースがあれば、地域のPR、地域を知る機会となり、住みやすい町、安心なまちづくりの推進につながる。 中央公園に遊具を設け憩いの場として活用すれば、子どもから高齢者までが集い、交流する空間ができるのではないだろうか。 わが町自慢の作文、写真、絵画コンクールなどを実施することで、地域の魅力を知ることができ、更には郷土愛が育まれ定住や、地域外へわが町を紹介することができ、武雄に来てもらうきっかけにもつながる。 リモートワークが増加していることに加えハブ都市機能を活かし、周辺部も含め働き口が増える取り組み、PRが必要である。例えば、高架下の活用や貸店舗の利用者への支援が考えられる。 新幹線を利用した修学旅行の実施。実際乗ってみる、体験することが大切である。 武雄の豊かな自然、歴史を活かした体験型の学習機会の提供(風穴体験、天体観測、焼物の原料、おつぼ山)。 武雄っ子講座、超たけお塾と称し一年、半年の期間、親子で武雄の歴史や文化等の体験(例:田植えや焼物を作り、マイ茶わんでお米を食べる)を通して武雄の魅力を再認識する機会を作る。移住者は、武雄を知るきっかけ、交流のきっかけの場となり、移住者の活躍が期待される。 また、受講者へ修了証を発行し、ボランティアガイドを養成する仕組みづくりに活かせるのではないだろうか。 子どもたちに地元はどういった企業があるのか、またその企業の魅力を伝えていくことが必要である。(総合の授業を活用し、出前講座を行う等) 子どもガイドの取り組みにおいては、英語の活用を盛り込むことで子どもたちの興味の幅が広がる。 移住者の相談窓口が必要である。 特色ある学校づくりを活かし、開業前の取り組みにおいて行政と学校で何か連携ができないだろうか。
----	--

- ・開業後の取り組みとして、公共施設のリニューアルと連携し積極的なスポーツ誘致、交流を図れないだろうか。
- ・交通の便が良くなり、通勤通学の可能域が広がるメリットと併せ、ローカル線の利便性も向上してほしい。
- ・JRウォーキングに参加して、長崎まで新幹線がつながることを再認識し、感動した。参加して更に興味が沸いた。子どもたちにもそういった感動を感じてほしい。
- ・広報武雄に新幹線開業の特集が掲載されていた。多くの子どもにも読んでほしいため、家族で読める広報の仕組みを検討してほしい。家族で読むことで、家族の会話が増え、家庭教育にもつながると思う。
- ・駅、沿線周辺以外の市民にも新幹線開業への興味をもってほしい。
- ・10年後は新幹線が通っていることが当たり前前の社会になるかもしれない。肥前山口駅を利用して長崎まで電車で行ってみる等開業前の現状を知る経験、機会を子どもたちと考えるのも面白い。
- ・すごいと思える気持ちが大人でもすごいと思えるようなことが、子どもの興味へつながる。学びの原動力となる。
- ・民間、行政による新幹線開業の魅力を伝える機会が増えることで、子ども達の興味関心が高まる。
- ・スポーツと観光の取り組みを活かし、交流人口の増加を推進できないだろうか。
- ・体験型の学習について、他市にはない体験を市全域で検討することが必要である。
- ・丸山公園を活用し、アスレチック場や修学旅行先として活用できないだろうか。
- ・最近、駅北口ロータリーのベンチを利用している方が増えてきた。現状、ベンチが少ないと思う。
- ・公園にごみ箱がないため、ごみの散乱が見受けられる。ごみ箱の設置や回収手段について検討してほしい。
- ・施設には、見透しと安全性を考慮する必要がある

<市長の発言>

地元を知る、地域を知ることが大切であるといった意見が多かった。また、知ることで観光や交流につながる意見が出て面白いと感じた。今日の意見を新幹線開業に向けた取り組みの参考としていきたい。

3 閉会(進行:庭木企画部長)